

Q & A

入試に関する質問にお答えします

入試について

Q.01 出願する学科を迷っています。学科の内容を詳しく知りたいのですが？

A 理工学部では、より深く学科を知っていただくためにオープンキャンパス、駿河台入試フォーラム、船橋キャンパスウォッチングを実施しております。また、個別にお申し込みいただければ、随時、可能な限り学科の紹介をする機会を設けております。お申し込みは、入試事務局(TEL:03-3259-0578)まで御連絡ください。各イベントの詳細は、理工学部ガイドブックや理工学部ホームページ(<https://www.cst.nihon-u.ac.jp/>)を御覧ください。

Q.02 複数学科の併願はできますか？

A 一般選抜(N全学統一方式第1期及びA個別方式)で複数学科に出願できます。また、C共通テスト利用方式第1期及び第2期では、各学科の指定する教科・科目を満足して大学入学共通テストを受験している場合は、複数学科に出願できます。なお、一般選抜(A個別方式)で複数学科に併願した場合、入学検定料が2学科目から割引となります。

Q.03 理工学部の一般選抜には5種類ありますが、どのように違うのですか？また、何度も受験できますか？

A 一般選抜にはN全学統一方式第1期、A個別方式、C共通テスト利用方式第1期・第2期及びCA共通テスト併用方式があります。多様な志願者に門戸を開くため、それぞれの目的に合った試験教科・科目を設置しています。それぞれ出願時期が異なりますし、すべての入試を受験できますので、積極的にチャレンジしてください。

Q.04 一般選抜で調査書はどのように利用していますか？

A 一般選抜では主に、出願資格の確認のための資料として利用しています。調査書の評定値によって不合格になることはありません。

Q.05 一般選抜の合格判定の基準について教えてください。

A 理工学部では基準点を設けていません。合格の判定は総合点で行いますので、万が一科目失敗しても、合計点が合格最低点を上回っていれば、合格となります。ただし、全ての選抜方式で、1科目以上の未受験科目がある場合は合格判定の対象となりませんので注意してください。なお、一般選抜(N全学統一方式第1期及びA個別方式)の合格者最低点以外は公表していません。

Q.06 一般選抜(A個別方式)の理料は選択する問題によって有利・不利はありますか？

A 理料は物理3題・化学3題の合計6題出題し、受験生は当日問題を見てから3題を選択し、解答します。選択問題の違いによる不公平が生じないように配慮しています。

Q.07 一般選抜(A個別方式)の試験場はどこにあるのですか？

A 試験は東京、船橋、仙台、水戸、前橋、新潟、名古屋、大阪、福岡で行います。希望する会場を出願時に選択してください。各試験場とも同じ問題で同じ日程(2月11日)に入試を実施します。なお、試験場は変更になる場合があります。ホームページまたは一般選抜募集要項(10月以降公開予定)を確認してください。

Q.08 一般選抜(N全学統一方式第1期・CA共通テスト併用方式)の配点の標準化得点とはどのようなものですか？

A 標準化得点とは、個々の受験生の素点と全体の平均点との差を、標準偏差に換算して表したものです。この方法は、それぞれの受験生の科目の平均点を50になるように補正し、科目間における問題の難易度を調整しています。

Q.09 総合型選抜はどういう選抜ですか？

A 理工学部の総合型選抜は、各学科が定める「アドミッション・ポリシー」に基づき、学力試験だけでは計りきれない受験生の持つ学力の3要素を多面的・総合的に評価するための選抜です。出願情報の登録前にエントリーを行っていただき、志願する学科をよく理解した上で出願していただけます。

Q.10 総合型選抜はエントリーをしていないと出願できませんか？

A エントリーをしていないと出願情報の登録及び出願はできません。エントリー期間は7月1日～9月17日です。

Q.11 総合型選抜は他大学と併願できますか？

A 理工学部を第一志望とし、合格した場合に入学していただける方を対象にした選抜方式です。

Q.12 理工学部の校友子女選抜について教えてください。

A 12月に試験が実施されます。試験科目は、筆記試験(数学・英語)と面接です。出願資格などの詳しい内容は「校友子女選抜概要」に記載してありますので、日本大学校友会本部事務局または入試事務局まで請求してください。

Q.13 昨年度の入試問題が欲しいのですが、どのようにすれば入手できますか？

A 数に限りはありますが、オープンキャンパスなどで自由にお持ちいただけるようにする予定です(一部、配付できないものがございます)。

Q.14 試験当日に付き添いの人は入場できますか？

A 基本的には入場できません。ただし、駿河台校舎・船橋校舎で受験される場合には、別に控室を用意できる場合がありますので、付き添いの方はそちらで待機していただけます。詳しくは、お問い合わせください。

Q.15 試験場の下見はできますか？

A 駿河台校舎及び船橋校舎については可能です。ただし、試験室への入室はできません。

Q.16 試験当日に降雪などの悪天候の時はどうすればいいですか？

A 状況に応じて試験時間を遅らせる場合があります。御利用の交通機関が事故などでストップしている場合は、入試事務局(TEL:03-3259-0578)へお問い合わせください。

Q.17 願書の入手方法を教えてください。

A 一般選抜、帰国生選抜及び外国人留学生選抜については日本大学ホームページ内の入試ガイドページ(http://www.nihon-u.ac.jp/admission_info/)を御確認ください。総合型選抜及び編入試(学士・推薦・一般)については理工学部Webサイト(<https://nucst-admission.jp/college/>)を御確認ください。

Q.18 入学志願票に貼る写真の規定を教えてください。

A カラーでも白黒でもかまいません。サイズは縦4cm、横3cm、無帽、上半身、背景なしで撮影してください。スピード写真でも問題ありませんが、焼き増し可能な写真スタジオでの撮影をお勧めします。なお、選抜方式により、インターネット出願(マイページ)にて写真データのアップロードが必要です。詳細は各選抜募集要項を御確認ください。

Q.19 出願状況を知ることはできますか？

A 一般選抜は、1月中旬以降に日本大学ホームページ(<http://www.nihon-u.ac.jp/>)でお知らせする予定です。

Q.20 身体に障がいがあるのですが？

A 身体の機能に著しい障がいのある方は、受験及び修学が困難になる場合がありますので、出願前のできるだけ早い時期に、必ず入試事務局(TEL:03-3259-0578)にお問い合わせください。

合格発表について

Q.21 合格発表の方法について教えてください。

A 合格者には、合格通知書及び入学手続書類を本人宛に発表日当日に速達郵便で発送します。また、選抜方式により合格確認の補助的な手段として、「インターネットによる合否案内」で合格発表を実施しています。詳細は、各募集要項を御確認ください。

Q.22 追加合格はありますか？

A 一般選抜において選抜方式により追加合格を出す場合があります。

合格後について

Q.23 入学時の納入金について、教えてください。

A 令和3年度の入学者納入金は未定です。令和2年度の納入金を参考のため下記に示します。

入学者納入金(令和2年度参考)

項目	入学時納入金(前期)	9月納入金額(後期)	初年度納入金総額	摘要
入学金(入学申込金)	260,000円	—	260,000円	入学時のみ納入
授業料	575,000円	575,000円	1,150,000円	毎年度同額納入
実験実習料(数学科)	30,000円	30,000円	60,000円	//
実験実習料(その他の学科)	50,000円	50,000円	100,000円	//
施設設備資金	110,000円	110,000円	220,000円	2・3・4年次同額納入
後援会費	30,000円	—	30,000円	毎年度同額納入
校友会費(準会員)	10,000円	—	10,000円	//
合計(数学科)	1,015,000円	715,000円	1,730,000円	
合計(その他の学科)	1,035,000円	735,000円	1,770,000円	

※入学手続は、所定の期限までに完了するのが原則ですが、一般選抜(N全学統一方式第1期・A個別方式・C共通テスト利用方式第1期・CA共通テスト併用方式)と帰国生選抜・外国人留学生選抜では、入学申込金による2段階手続が可能です。詳細は募集要項を確認してください。

Q.24 一般選抜で入学手続を完了した後、入学辞退をすれば学費などは返還してもらえるのですか？

A 入学手続を完了した者が、やむを得ない事情により、入学を辞退する場合は、指定された期日までに所定の手続を行うことにより、入学金を除く学費などを返還する制度を設けています。

Q.25 合格後、入学までにどのような勉強をすればよいですか？

A 12月までに合格が決まる方には「入学前教育プログラム」に添って課題を送付しますので、自身で取り組んでください。

Q.26 授業校舎について、教えてください。

A 1年次は全員船橋校舎になります。2年次から土木工学科、建築学科、まちづくり工学科、機械工学科、電気工学科、物質応用化学科、物理学科及び数学科の8学科は駿河台校舎になります。ただし、履修状況により、船橋校舎で開講される授業を受ける場合もあります。